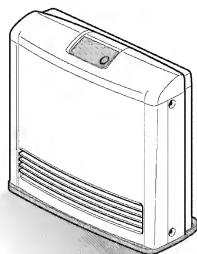
保証書付

ガスファンヒーター
取扱説明書

家庭用

型番 140-9362型

型式名 RC-K2403E-1・2

必ず換気する。
使用中は1時間に1～2回(1～2分)程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして換気する。
換気をしないと一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。

ご愛用の皆様へ

このたびは、ガスファンヒーターをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

- ●ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みいただき安全に正しくお使いください。
- ●この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- ●取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにて再購入してください。
- ●この機器は国内専用ですので、海外で使用しないでください。
- ●この機器は家庭用ですので、業務用のような使い方をされますと著しく寿命が縮まります。

もくじ　　ページ

大阪ガス

機能と特長

このガスファンヒーターは、簡単操作で快適にお部屋を暖めます。
また、次のような特長があります。

機能と特長 その1 暖房

簡単操作

ワンプッシュ点火・記憶機能

運転・停止は運転スイッチを押すだけのワンプッシュ操作です。
運転を停止した後も設定室温が記憶され、再設定の手間を省きます。

くわしくは 14・17・18ページ

足もとから暖かい

温風下吹出し

温風は、足もとから吹出します。お部屋の空気を循環させながら暖房するので快適です。

比例制御で快適暖房

室温調節・設定室温表示機能

設定室温をお好みの温度に設定しておくと、自動でガス量をコントロールして、快適な室温に保ちます。設定室温をデジタルで表示します。

また、異常時の故障内容などの情報を表示し、お知らせします。

機能と特長 その2 便利な使いかた

小さなお子さまのいたずらを防止

ロック機能

運転スイッチの停止操作以外は操作できなくなり、小さなお子さまのいたずらなどを防止することができます。

くわしくは 19ページ

機能と特長 その3 安全・お手入れ

エアフィルターのほこり詰まりをお知らせする

フィルター掃除サイン表示機能

エアフィルターにほこりが詰まると、ブザーが鳴り、フィルター掃除サインが赤色に点滅して、エアフィルターのお掃除時期をお知らせします。

くわしくは 23ページ

もしものために

安全装置

ご使用中、下記の安全装置が万一の事故を未然に防ぎます。

- 不完全燃焼防止装置
- 過電流防止装置
- 立消え安全装置
- 停電時安全装置
- スイッチ回路安全装置
- 8時間自動消火機能
- 過熱防止装置（サーミスタ）
- 過熱防止装置（温度ヒューズ）
- 転倒時ガス遮断装置

くわしくは 29・30ページ

消し忘れたときに

8時間自動消火機能

消し忘れを防ぐために運転開始後8時間で自動消火します。

くわしくは 18ページ

安全上のご注意 必ずお守りください

この機器を安全に正しくお使いいただくために、ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では製品を正しくお使いいただき、お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表　示	意　　　味
⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡・重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡・重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

一般的な危険・警告・注意　回転物注意　高温注意　一般的な禁止　分解禁止　火気禁止　ぬれ手禁止　水ぬれ禁止　必ず行う　電源プラグをコンセントから抜け　換気必要

⚠危険

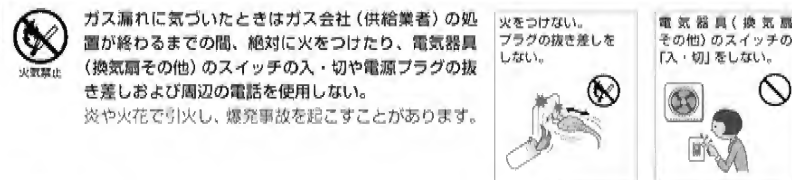
●ガス漏れ時使用厳禁（ガス漏れ時の処置）

ガス漏れに気づいたときは

ガス漏れに気づいたときはガス会社（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

火をつけない。プラグの抜き差しをしない。

電気器具（換気扇その他）のスイッチの「入・切」をしない。

①すぐに使用をやめ、ガス栓とメーターのガス栓を閉じる。つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外す。➡ ②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。➡ ③外に出て、もよりのガス会社（供給業者）に連絡する。

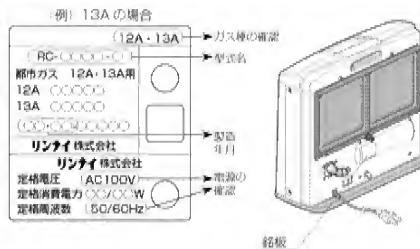
お部屋のガス栓（例）

⚠警告

●使用ガスおよび使用電源について

使用ガスおよび使用電源を確かめる

機器本体銘板に記載してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）以外のガスおよび電源では使用しない。

- 記載のガスおよび電源と使用ガスおよび使用電源が一致していない場合、不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、爆発着火や機器故障の原因になりますので、使用しないでください。
- 転居された場合も、供給ガスの種類および電源の種類を必ず確認してください。
- わからない場合はお買い上げの販売店、またはもよりのガス会社（供給業者）に連絡してください。

●火災予防

燃えやすいものを近くに置かない

機器の上や周囲には燃えやすいものを置かない。可燃物（家具・カーテン・洗濯物など）を機器に近づけない。

火災の原因になります。

引火のおそれのあるものを使用しない

機器の周囲では、スプレー・ガソリン・ベンジンなど引火のおそれのあるものを置いたり、使用したりしない。

引火して火災のおそれがあります。

使用中は外出、就寝をしない

運転したまま外出や就寝は絶対にしない。

火災など予期せぬ事故の原因になります。

温風吹出し口にはものを入れない

温風吹出し口や機器の背面（エアフィルター部）の中に、紙・布・異物などを入れたり、ふさいだりしない。

異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災および機器故障の原因になります。

●スプレー缶厳禁

スプレー缶を機器の前に置かない

機器の周辺や上、温風吹出し口前方で、スプレー缶（殺虫剤・ヘアスプレー・カセットコンロ用ボンベなど）を使用したり、機器の前方に置かない。

熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

●換気必要

換気のご注意

●**必ず換気する。使用中は1時間に1～2回（1～2分）程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして換気する。**

換気をしないと、一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。

換気は2カ所以上の（風の出入りのある）開口部を設けると効率よくできます。換気扇を使用する場合でも換気扇から離れた位置の窓を開けないと十分な換気ができない場合があります。

●**換気できない場所では使用しない。**

窓が凍結する場所や地下室など、換気ができない場所では使用しない。

一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。

●温風をじかに当てない

低温やけどに注意

温風の直接当たる場所で就寝しない。

低温風でも連続的に当たると低温やけどの原因になります。

（特に乳幼児、小さなお子さま、お年寄り、病人など、自分の意思で身体を動かせない方、疲労が激しいとき、お酒や睡眠薬を飲まれた方、皮膚や皮膚感覚の弱い方などがお使いのときは、周りの方が注意してください。）

温風を長時間体に当てない

温風をじかに長時間体に当てない。

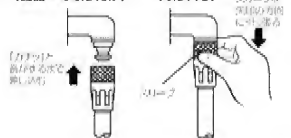
体調悪化や健康障害の原因になります。

●ガス接続（ガス事故防止）

ガスコードは当社指定のものを使用する

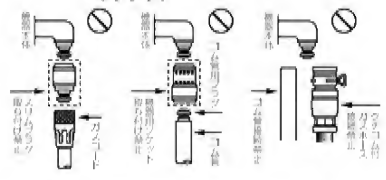
●**ガスコードは必ず当社指定のガスコードを使用し、接続の際にはガスコードおよび機器のガス接続口に傷やごみなどの異物がないことを確認し、確実に接続する。**

確実に接続されていないとガス漏れが生じ、爆発や火災の原因になります。

〈機器への取り付け〉　〈取り外し〉

●**スリムプラグ取り付け禁止**

●**機器用ソケット取り付け禁止**

●**ゴム管接続禁止、クチゴム付ガスホース接続禁止**

ガス漏れが生じ、爆発や火災の原因になります。

ガスコードの上に物をのせたり、踏まれるまたは挟まれる状況で使用しないでください。またガスコードを継ぎ足したり天井などを通さないでください。ガス漏れが生じ、火災の原因になります。

⚠警告

●異常時の処置

異常時には

点火しない場合や使用中に異常な燃焼・異常な臭気・異常音・異常な温度が感じられた場合、または使用途中で消火する場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。（つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外す。）

異常を感じたときは、「故障かな？と思ったら」（26～28ページ）および「安全装置が作動したときの処置」（29・30ページ）に従ってください。

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止して、お買い上げの販売店、またはもよりのガス会社（供給業者）にご連絡ください。

地震、火災など緊急の場合

地震、火災など緊急の場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓とメーターのガス栓を閉じる。

●改造・分解禁止

機器の修理・改造・分解禁止

お客さまご自身では工具を使用して絶対に分解したり修理・改造は行わない。

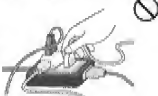
一酸化炭素中毒や火災および機器故障の原因になります。

修理・改造・分解は高度な専門知識が必要です。

●使用上の注意

許容電力以上の使用禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流（AC）100V以外で使わない。

たこ足配線などで指定された定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグの不完全接続禁止

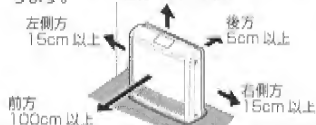
電源プラグの差し込みは根もとまで確実に行う。

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。また、いたんだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。感電・発熱による火災の原因になります。

●設置場所

周囲の防火措置

家具や壁・棚など可燃性の部分から十分離して使用する。

火災や機器過熱によるやけどの原因になります。

●電気事故防止

電源コードの破損・加工禁止

電源コードを切断して延長しない。

機器の設置は電源コードがコンセントに届く範囲内としてください。

感電や火災などの原因になります。

いたんだ電源コードは使用しない。電源コードへ無理な力をかけたり、物をのせたり、たばねて使用したりしない。

感電や火災などの原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

●電気事故防止

電源プラグのあつかい

ぬれ手禁止

電源プラグは、ぬれた手でさわらない。
感電やけがの原因になります。

電源プラグにほこりを付着させない。(定期的に清掃する。)
電源プラグのほこりなどは、電源プラグを抜き、乾いた布で拭き取ってください。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

⚠注意

●火災予防

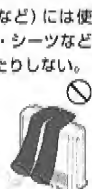
運転したまま移動しない

運転したまま持ち運びしない。
ガスコードが折れて異常燃焼の原因になったり、ガスコードの接続が不完全になり、ガス漏れの原因になります。また、やけどなどの原因にもなります。

落下物に注意

棚の下など、落下物のおそれのあるところでは使用しない。
落下物によっては、火災のおそれや、機器故障の原因になります。

用途について

暖房以外の用途(衣類の乾燥など)には使用しない。また、衣類・毛布・シーツなどを機器の上に置いたり、掛けたりしない。
火災や思わぬ事故の原因になります。また、機器の変形や故障の原因にもなります。

火のついたものを近づけない

火のついたタバコ・線香などを近づけない。
引火して火災の原因になるおそれがあります。

⚠注意

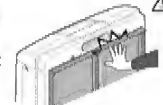
●使用上の注意(小さなお子さまにはさわらせないでください)

やけどに注意

高温注意

使用中および使用直後は、操作部、取っ手以外は高温になっているので手を触れない。
やけどのおそれがあります。特に温風吹出し口付近、エアフィルター部などの高温部には触れないでください。

高温注意

使用中、停電により機器が停止したり、誤って電源プラグを抜いて機器が停止したときは、機器の背面(エアフィルター部)が高温になっているので、手を触れない。
やけどのおそれがあります。

機器にのらない

機器の上に腰かけたり、のったりしない。
けがややけど、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼など機器故障のおそれがあります。

温風吹出し口に指を入れない

回転物注意

温風吹出し口に指や鉛筆などを入れない。
対流ファンが回転していますので、けがややけど、機器故障の原因になります。(特に小さなお子さまのいるご家庭はご注意ください。)

床面変色・変形についての注意

温風吹出し口の前や周囲にものを置いたり、機器の背面(エアフィルター部)をふさがない。
機器が過熱し、やけどや機器故障の原因になります。また、床やじゅうたんなどの変色やヒビ割れの原因になったり、リモコンなどのプラスチック製品は変形・変色のおそれがあります。

電源コードを持って引き抜かない

電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない。
電源コードを引っ張ると、電源コードが破損し、感電・ショート・火災や機器故障の原因になります。

殺虫剤、防虫剤使用時の注意

- **くんじょうタイプ(発煙型)の殺虫剤、防虫剤を使う場合は運転をしない。**
  機器内部に薬剤成分が蓄積し、その後温風吹出し口から放出されて、健康に良くないことがあります。
- **殺虫剤、防虫剤を機器にかけない。**
  機器の樹脂部が変色したり、ヒビ割れすることがあります。
- **機器の近くで殺虫剤、防虫剤を使用しない。**
  腐食性ガスの発生により金属がさびたり、機器故障の原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

●使用上の注意（小さなお子さまにはさわらせないでください）

エアフィルターを外して運転しない

エアフィルターを外して運転しない。
機器内部へのほこり詰まりによる機器故障の原因になります。

子供に対する注意

小さなお子さまが遊んだり、いたずらしないように注意する。
思わぬ事故につながるおそれがあります。

電源プラグを抜いて停止しない

電源プラグを抜いての停止はしない。
機器の過熱の原因になります。

電源プラグのあつかいに注意

電源プラグをコンセントから抜け

点検やお手入れの際は必ず電源プラグを抜く。
感電やけがをすることがあります。

●ガス事故防止

ガス栓を閉じる

外出や、長時間使用しないときは、ガス栓を必ず閉じる。つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外す。

お部屋のガス栓（例）

点火・消火の確認をする

使用時の点火、使用後の消火を確認する。

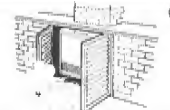
●設置場所

じゅうたんの上で使用する場合

毛足の長いじゅうたん・クッションフロア・その他の熱で変色しやすい床面で使用する場合は、機器の下に丈夫な敷き板などを敷いて使用する。
熱により、じゅうたんの毛足やクッションフロアなどが変色する原因になります。
機器の重みでじゅうたんやクッションフロアにキズがつくことがあります。

電気カーペット・温水マットの上には設置しない。
機器の重みで電気カーペット・温水マットが故障する場合があります。
また、電気カーペットや温水マットの熱で機器が正しい制御をしないことがあります。

周囲の防火措置

温風吹出し口の前にギャラリ（格子）を取り付けない。
温度調節が正しく行われず火災の原因になります。

⚠注意

●設置場所

特殊な場所は避ける

乾燥室・温室・動植物の飼育室など、特殊な場所では絶対に使用しない。
植物が枯れたり動物が死亡するおそれがあります。

浴室など水のかかる場所に設置しない

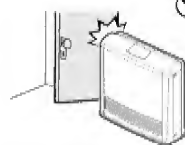
水ぬれ禁止

浴室など高温・多湿の場所や水のかかるおそれのある場所には設置しない。また、機器の上に花びんや金魚ばちなどを置かない。
漏電して感電・火災の原因になります。
また、機器故障の原因になります。

ドアの近くに置かない

ドアの近くに置かない。
機器の転倒や、やけどなどのおそれがあります。

水平なところに設置する

機器は水平なところ（確実に設置できるところ）に設置する。
機器が傾くと、転倒したり温風の方向がかわり、温風が当たる部分が変色やヒビ割れすることがあります。

スプレーや化学薬品を使用する場所で使わない

スプレーや化学薬品を使用する場所および綿ぼこりの多い場所（理・美容院や、メッキ・塗装工場など）では使用しない。
フロンガスや塩素系溶剤は、腐食性ガスの発生により金属がさびたり、刺激臭や異臭がする原因になります。また健康を害したり、機器故障の原因になります。

油成分が浮遊している場所では使用しない

機械油や、天ぷら油など油成分が浮遊している場所に置かない。
機器の樹脂部がヒビ割れし、破損することがあります。

段差のある床面に設置しない

段差のある床面に設置しない。
温風が当たる部分が変色やヒビ割れすることがあります。
（前方は 100cm 以上離す。）

安全上のご注意 必ずお守りください

お願い

壁に掛けたり、机や台にのせて使用しない

壁に掛けたり、机や台にのせて使用しない。
落下や転倒によりけがの原因になります。

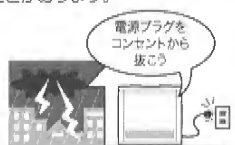
結露に注意

この機器は室内燃焼機器のため、気密の高いお部屋などでは十分に換気する。
壁や天井が結露する場合や、OA機器などに機能障害が生じる場合があります。

雷に注意

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜く。
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

シリコンの入ったものを使わない

機器の近くでヘアスプレーや制汗スプレーなどシリコンの入ったスプレー缶を使わない。
機器内部や温風吹出し口にシリコンの白い粉が付着したり、吹出したりすることがあります。

機器に強い風を当てない

強い風の吹き込むところでは使用しない。
炎が風で消えることがあります。

じゅうたんの変色に注意

お部屋の空気が汚れているところでは使用しない。
使用環境によっては温風に巻き込まれたほこり、タバコの煙などにより、温風の当たる部分が変色する(汚れる)ことがあります。

定期的に(3シーズンに1回程度)点検整備(有料)を受ける

機器内部にほこりがたまっている状態で、そのままお使いになりますと思わぬ事故につながるおそれがあります。

くわしくは 32ページ

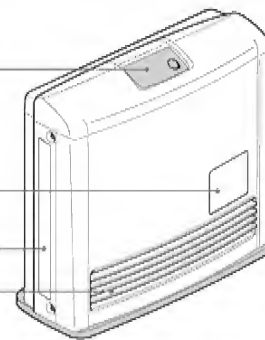
各部のなまえとはたらき

ガスファンヒーターの各部のなまえとはたらきをご紹介します。

正面

操作・表示部
運転状態を設定します
くわしくは 13・14ページ

ご注意・操作方法ラベル
ご使用上の注意事項と操作方法を記載しています。
ご使用前に必ずお読みください。

温風吹出し口
温風の出口です。
ただし、温風は吹出し口の全面からは出ません。

背面

エアフィルター
空気中のほこりが機器内に入るのを防ぎます。
くわしくは 23～25ページ

銘板
ガス・電源の種類などを記載しています。
くわしくは 4ページ

ガス接続口
ガスコードの接続口です。
くわしくは 15・16ページ

取っ手
機器を移動するときに使用します。

ねじ
エアフィルターの固定用のねじです。
くわしくは 24・25ページ

ガス接続ご注意ラベル
ガス接続時の注意事項を記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

電源プラグ・コード
AC100V
50/60Hz 用です。

各部のなまえとはたらき

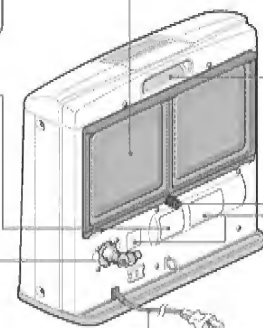
操作・表示部

ロックランプ

セット時にランプ（緑色）が点灯します。

くわしくは 19ページ

フィルター掃除サイン

エアフィルターのほこり詰まりをお知らせします。（赤色点滅）

くわしくは 23ページ

表示部

設定室温を表示します。

●設定室温

表示	内 容
L	約 10℃
16	16℃
≀	≀
26	26℃
H	連続して強燃焼

また、異常時には安全装置の作動内容を表示します。

くわしくは 29・30ページ

運転スイッチ

運転・停止をするスイッチです。

室温合せスイッチ（ロックスイッチ）

設定室温を調節するスイッチです。
また、▼・▲を同時に押すことにより、ロックのセットまたは解除ができます。

くわしくは 18・19ページ

運転／燃焼ランプ

（緑色）運転中に点灯します。
（赤色）燃焼中に点灯します。

記憶機能

設定室温は、一度セットすれば記憶されます。電源プラグをコンセントから抜いた場合でも、次回運転するときに同じ設定室温であれば、あらためてセットする必要はありません。
※ロック中に電源プラグをコンセントから抜いたり停電したときは、ロックは解除されます。

お使いになる前の準備

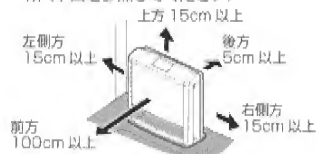
設置と接続

機器をご使用になる前に、次の手順で準備をしてください。

❶ 機器を設置する。

〈設置できる場所・条件〉
- 水平で平らな場所
- 機器前方に機器設置面より高い段差がない場所
- 家具や壁・棚など可燃性の部分から十分離れた場所（下図を参照してください）

補足
- 機器の周囲が囲われていると、正しいお部屋の温度が検知できないことがあります。
- 機器の後方が壁に近いと、安全装置が働いて運転が停止することがあります。

お願い
- 毛足の長いじゅうたん・クッションフロア・その他の熱で変色しやすい床面で使用する場合は、機器の下に丈夫な敷き板などを敷いて使用してください。
熱により、じゅうたんの毛足やクッションフロアなどが変色する原因になります。また、機器の重みでじゅうたんやクッションフロアにキズがつくことがあります。

❷ 電源を接続する。

電源プラグをコンセントに確実に差し込み接続してください。

❸ 別売の当社指定のガスコードを準備する。

※ガス接続は必ず別売の当社指定のガスコードを使用してください。

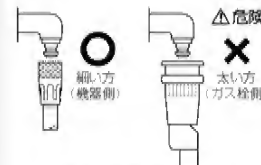
お願い
- ガス接続は必ず別売の当社指定のガスコードを使用する必要があります。ゴム管接続など間違った接続をすると、ガス漏れが生じ、爆発や火災の原因になります。

接続についての注意点

以下の項目を点検した上で、電源コードおよびガスコードを接続してください。

電源コード	● 温風吹出し口の前を通したり、機器の下を通さないでください。 ● ペットなどがかまないよう注意してください。 ● イスの脚やキャスター、コマなどで踏まないでください。 ● ヒビ割れした電源コードは交換が必要ですので、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡してください。
ガスコード	● ガスコードは機器を取り替える際、または7年程度を目やすに新品とお取り替えください。 ● 継ぎ足して使用しないでください。 ● ヒビ割れたりして古くなったガスコードは、必ず取り替えてください。 ● 折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短く接続してください。 ● 湿度の高いところに触れたり、上に物をのせたりしないでください。 ● 他の部屋まで延長したり、壁・天井などを通したりしないでください。 ● ペットなどがかまないよう注意してください。 ● ガス接続口に傷がついたり、異物が付着するとガス漏れの原因になりますので、ていねいに清潔にお取り扱いください。また、お使いにならないときは、キャップをガス接続口につけてください。

❹ ガスコードの細い方の先端を機器に接続する。

補足
- 機器への接続は、ガスコードの細い方を接続してください。

- ガスコードおよび機器の接続口にごみなどの異物がないことを確認して確実に接続してください。
- ガス接続口には、輸送・保管時におけるごみ混入防止のためキャップがついています。なくさないように大切に保管してください。

❺ ガスコードの太い方の先端をコンセントガス栓に接続する。

カチッ

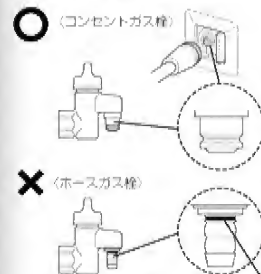
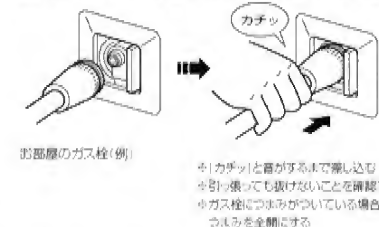
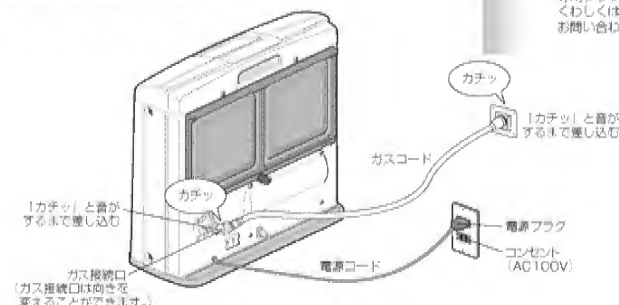
お部屋のガス栓（例）

- 「カチッ」と音がするまで差し込む
- 引っ張っても抜けないことを確認する
- ガス栓につまみがついている場合はつまみを全開にする

お願い
- ガス栓の接続部は2種類あります。ガス栓の接続部の形状を確認してください。

専用プラグ（別売）が必要です。
くわしくはもよりのガス会社（供給業者）へお問い合わせください。

接続完了

カチッ
「カチッ」と音がするまで差し込む
ガスコード
カチッ
「カチッ」と音がするまで差し込む
電源プラグ
コンセント（AC100V）
電源コード
ガス接続口
（ガス接続口は向きを変えることができます。）

暖房のしかた

ガスファンヒーターの基本操作です。
運転の前に**「安全上のご注意」**をご確認ください。 くわしくは 3～11ページ

■補 足

- 運転中にロックをセットしたときは、運転スイッチの停止操作以外は、操作できなくなります。
- 停止中にロックをセットしたときは、すべてのスイッチの操作ができなくなります。

くわしくは 19ページ

❶ (運転入/切)を押す。

「ピッ」と音がするまで押します。

①運転／燃焼ランプ点灯。（緑色）
対流ファンが回転します。

約5～10秒経過すると……

②運転／燃焼ランプ点灯。（赤色）
バーナーに点火します。

お願い

- 運転スイッチは押し続けないでください。15秒以上押し続けると、表示部が「70」を点滅表示し、運転を停止します。

くわしくは 29・30ページ

補 足

- 初めてお使いになるときや、しばらく使わなかったとき、ガスコードを脱着したときはガスコード内に空気が入ることがあるため、運転開始時にいったん着火してから火が消えることがあります。このようなときには、自動的に1回だけ再点火動作を行いますので点火に時間がかかる場合があります。
また表示部が「11」・「12」を点滅表示する場合もあります。この場合再度運転操作をしてください。

⚠警告

換気が必要です

必ず換気する。
使用中は1時間に1～2回（1～2分）程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして換気する。
換気をしないと一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。

❷ (▼)・(▲)を押し、設定室温を調節する。

初めてお使いになるときは、22℃に設定されています。

(▼)：設定室温を下げる。
(▲)：設定室温を上げる。

補 足

- 設定室温は「L」（約10℃）、「16」…「26」（16…26℃）および「H」（連続して強燃焼）の範囲でお好みの温度に設定できます。
- 一度セットした設定室温は記憶されます。電源プラグをコンセントから抜いた場合でも、次回運転するときには前回セットした設定室温で運転します。

お願い

- お部屋の構造、設置場所、室外温度などによっては、設定された室温にならない場合があります。また、弱燃焼になってもお部屋の温度が上がっていくことがありますので、このときは、いったん運転を停止してください。

❸ (運転入/切)を押し、運転を停止する。

運転／燃焼ランプ消灯。

補 足

- 消火後、対流ファンは数分間回転し続けてから停止します。これは機器内の温度が低くなるまで風で冷却しているためです。この間、電源プラグは抜かないでください。機器が過熱し、やけどや機器変形の原因になります。

■ 8時間自動消火機能

- 消し忘れを防ぐために運転開始後8時間で自動消火します。
（表示部が「01」の点滅表示になり機器が停止します。）
運転を続けたいときは、再度運転操作を行ってください。 くわしくは 29・30ページ

便利な使いかた

スイッチをロックする「ロック機能」

小さなお子さまのいたずらや誤ってスイッチを押しても作動しないよう、スイッチ操作を制限する機能です。

（運転中にロックをセットした場合）

●ロックをセットする

❶ ▼と▲を同時に押す。

ロックランプ点灯。
ロックがセットされます。

運転中にロックをセットした場合は、（運転入/切）の「切」操作以外は操作できません。

停止中にロックをセットした場合は、すべてのスイッチ操作ができません。（ロックの解除は除く。）

補 足
- ロックランプ点灯中に運転する場合は、ロックを解除してから（運転入/切）を押してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり停電したときは、ロックは解除されます。

●ロックを解除する

❶ ロックセット中に▼と▲を同時に（1 秒以上）押す。

ロックランプ消灯。
ロックが解除されます。

ブザー機能について

この機器は、スイッチ操作時や安全装置が作動したときにブザーでお知らせする機能がついています。お買い上げ時は、ブザーでお知らせする設定になっています。また、ブザー音は消すこともできます。

スイッチ操作と機器の動作状態	ブザー音
スイッチ「入／受付」時	ピッ
スイッチ「切／解除」時	ピー
フィルター掃除サイン点滅時	ピピッ ピピッ…（10回）
安全装置作動時	ピー ピー…（20回）

補 足
- ブザー音を消した場合でも、安全装置作動時には、ブザーでお知らせします。

ブザー音の変更のしかた

●ブザー音を消すには

操作は運転を停止させ、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

押しながら

コンセントに差し込む
- 表示部がブザー機能切り換えモードになります。
- 初めてお使いになるときは「01」（ブザー音あり）に設定されています。

押す
- ▼を押し、「00」（ブザー音なし）に設定します。

コンセントから抜く

再度差し込む

ブザー音なしに設定される

●ブザー音ありに戻すには

→再度❶の操作をし、ブザー機能切り換えモードを表示させ、▲を押し「01」にして、❸の操作をします。

知っておいてください

日常の点検とお手入れ

安全にお使いいただけるように、点検とお手入れは定期的に行ってください。

⚠警告

分解禁止

●修理・改造・分解は高度な専門知識が必要です。
●エアフィルターの脱着以外は、お客さまご自身では工具を使用して絶対に分解したり修理・改造は行わない。
一酸化炭素中毒や火災および機器故障の原因になります。

●日常の点検

日常の点検・お手入れの際には運転を停止して必ずガス栓を閉じ、機器が十分に冷えてから電源プラグをコンセントから抜いてください。
機器本体には安全に関するご注意ラベルが張り付けてあります。汚れたり、読めなくなったときは、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際に、はがれないように注意してください。もし、はがれたり読めなくなった場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスで新しいラベルをお買い求めのうえ、張り替えてください。

◎次のチェックポイントを点検してください。

対象	チェックポイント	処置
ガスコードは	正しく接続されていますか？	接続部を点検する（5・15・16ページ）
	折れたり、ねじれたりしていませんか？	ガスコードを点検する（5・15・16ページ）
電源コードは	いたんでいませんか？	電源コードを点検する（6・7・15ページ）
エアフィルターは	正しくセットされていますか？	取り付けを点検する（25ページ）
	ほこり詰まりはありませんか？	フィルター掃除サインを確認する（23ページ） エアフィルターを掃除する（23～25ページ）

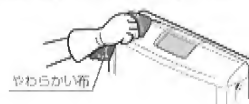
●機器のお手入れ（1ヵ月に1回程度）

1ヵ月に1回程度、もしくは汚れたらそのつどお手入れしてください。

❶ 運転を停止する。

ガス栓を閉じ、機器が十分に冷え、対流ファンが止まり温風が出なくなったことを確かめてから電源プラグをコンセントから抜いてください。

❷ やわらかい布をぬるま湯でぬらして、よくしぼってから拭く。

特に汚れのひどいときは、やわらかい布に台所用中性洗剤をつけて拭き取ってください。

⚠注意
- お手入れの際は、けがを防ぐためにも、手袋をはめて行うことをおすすめします。
- 化学ぞうきん、スプレー式洗剤、酸性やアルカリ性洗剤、ベンジン、シンナーなどは、絶対に使用しないでください。塗装の色があせたり、樹脂製の部品が変色したり、割れることがあります。

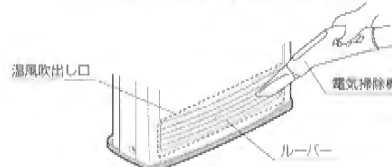
●温風吹出し口のお手入れ（1ヵ月に1回程度）

1ヵ月に1回程度、もしくは汚れたらそのつどお手入れしてください。

❶ 運転を停止する。

ガス栓を閉じ、温風吹出し口が十分に冷え、対流ファンが止まり温風が出なくなったことを確かめてから電源プラグをコンセントから抜いてください。

❷ 温風吹出し口を、電気掃除機などで掃除する。

温風吹出し口に白い粉や汚れが付着することがありますが、異常ではありません。そのようなときや汚れがひどい場合は、指をけがしないよう手袋をはめて、やわらかい布で拭き取ってください。

⚠注意
- 化学ぞうきん、スプレー式洗剤、酸性やアルカリ性洗剤、ベンジン、シンナーなどは、絶対に使用しないでください。
- 温風吹出し口のルーバーを、強く押えたり、衝撃を加えたりしないでください。ルーバーが折れたり、曲がったりして、温風の方向がかわり、床やカーペットなどが変色することがあります。

知っておいてください

●エアフィルターのお手入れ（1ヵ月に 1 回程度）

1 ヵ月に 1 回程度、もしくは汚れたらそのつどお手入れしてください。

1 運転を停止する。

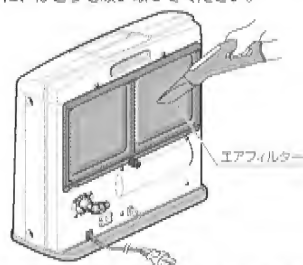
ガス栓を閉じ、温風吹出し口が十分に冷え、対流ファンが止まり温風が出なくなったことを確かめてから電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 エアフィルターを電気掃除機などで掃除する。

電気掃除機のブラシなどを使って、エアフィルターを装着したまま、エアフィルターを変形させないように、ほこりを吸い取ってください。

補足
- 汚れがひどい場合は、エアフィルターを取り外し、はたきややわらかいブラシなどで、詰まっているほこりを取り除いてください。
- 油などの特にひどい汚れが付着しているときは、エアフィルターを取り外し、台所用中性洗剤で手早く洗い、水気をよくきってから十分に乾燥させてください。

⚠注意
- **化学ぞうきん、スプレー式洗剤、酸性やアルカリ性洗剤、ベンジン、シンナーなどは絶対に使用しないでください。塗装の色があせたり、変色したり、部品が変形・破損することがあり危険です。**

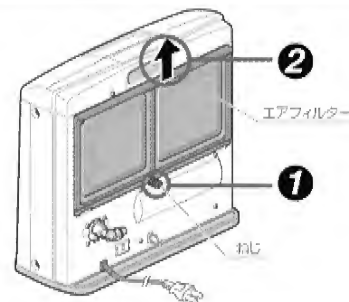
- エアフィルターの網部に水が付着していると、ほこり詰まりと同じ状態となり運転しないことがあります。お手入れ後の水気は十分にきってください。

フィルター掃除サインが点滅したら

- エアフィルターにほこりが詰まったり、カーテンなどの障害物でふさがれたりすると、ブザーが鳴り、フィルター掃除サインが赤色に点滅し、お掃除時期をお知らせします。この場合、障害物を除去してください。また 23 ~ 25 ページのお手入れ方法に従って、エアフィルターの掃除を行ってください。
- 運転したままほこりの掃除を行ってもフィルター掃除サインは消灯しません。再運転を行ってください。
- エアフィルターを掃除してもフィルター掃除サインが消灯しない場合には、機器内部にほこりやごみが付着していることが考えられます。「点検整備（有料）」を受けることが必要となります。（お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご依頼ください。）くわしくは 32 ページ

■補足
- フィルター掃除サインが点滅しているときは、最大燃焼量を下げて運転を行います。
- エアフィルターがほこり詰まりをしたり、温風吹出し口に障害物があったり、機器の後方と壁が近かったりしたときは、機器内部が異常に過熱します。フィルター掃除サイン点滅後も運転を続けると、機器が自動的に運転を停止することがあります。

エアフィルターの取り外しかた

1 ねじを外す。

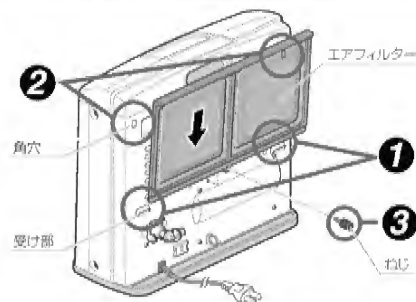
補足
- 初めてねじを外すときは、かたい場合がありますので⊕ドライバーを使用してください。

2 エアフィルターを引き出す。

エアフィルター上部を持ち、まっすぐ上に引き出します。

補足
- エアフィルターを取り外すときに、エアフィルターのツメが後板の角穴に差し込まれた状態で、エアフィルターを手前に引き出すとツメが破損する場合があります。エアフィルターは必ずまっすぐ上に引き出してください。

⚠注意
- **エアフィルターを取り外したまま運転すると、機器内部にほこりが入り、機器故障の原因になります。掃除後は必ず元の位置に確実にセットし、ねじを締めてください。**

知っておいてください

エアフィルターの取り付けかた

❶ エアフィルターを後板の受け部に差し込む。

エアフィルター上部を持ち、下部を後板の受け部（2カ所）に差し込みます。

❷ エアフィルターのツメを後板上部の角穴に差し込む。

後板上部の角穴（2カ所）に差し込みます。

❸ ねじを締める。

補足

- 十分に乾燥していることを確認してからセットしてください。

⚠注意

- **エアフィルターと機器との間に大きなすきまがないことを確認してください。すきまがあると、機器内部にほこりが入り、機器故障の原因になります。**

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障でない場合もあります。
修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。
それでも直らないときや原因がわからないときには、お買い上げの販売店、またはもよりのガス会社（供給業者）へご連絡ください。

●次のことを調べてください

現象	点検のポイント	くわしくは
運転スイッチを押しても運転しない（運転／燃焼ランプが緑色に点灯しない）	●電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか。	6·15ページ
	●ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか。	−
	●停電ではありませんか。	−
	●ロックがセットされていませんか。	19ページ
点火しない（運転／燃焼ランプが赤色に点灯しない）	●お部屋のガス栓は全開になっていますか。	16ページ
	●ガスコード内に空気が残っていませんか。	17·28ページ
	●マイコンメーターが作動していませんか。	※1
使用中に消火する	●エアフィルターにほこりが詰まっていませんか。（フィルター掃除サインが点滅していませんか。）	23ページ
	●温風吹出し口がふさがれていませんか。	6·15ページ
	●機器の後方と壁の距離は5cm以上ありますか。	6·15ページ
	●マイコンメーターが作動していませんか。	※1
	●8時間自動消火機能が作動していませんか。	16·29·30ページ
	●不完全燃焼防止装置が作動していませんか。室内の換気をしてください。	5·29·30ページ
よく暖まらない	●エアフィルターにほこりが詰まっていませんか。（フィルター掃除サインが点滅していませんか。）	23ページ
	●設定室温が低くありませんか。	18ページ
	●お部屋の窓や戸が開いていませんか。	−
	●お部屋のガス栓は、全開になっていますか。	16ページ
	●機器前方100cm以内にものが置いてありませんか。	6·15ページ
	●お部屋の大きさと機器の仕様（暖房の目やす）が合っていますか。	33ページ
暖まりすぎる	●機器背面にすきま風や冷たい空気が当たっていませんか。	

※1　もよりのガス会社（供給業者）に連絡してください。

知っておいてください

●次のことを調べてください

現象	点検のポイント	くわしくは
ガスくさい	●ガスコードおよび機器のガス接続口に傷がついていたり、ごみなど異物が入っていませんか。	5·15·16ページ
	●別売のガスコードで正しく接続されていますか。	5·15·16ページ
	●ガスコードがいたんでいませんか。	5·15ページ
異臭がする	●お部屋の建材から化学物質が出ていませんか。（最近リフォームをしていませんか。新築ではありませんか。）	–
	●機器内部にほこりが詰まっていませんか。（ほこりが焼けたようなにおいがする場合）	31·32ページ
	●機器の近くで、ヘアスプレーや消臭スプレーなどの化学薬品を使用していませんか。	10ページ

●こんなときは故障ではありません

	現象	原因と対策
運転前	シーズン始めや、しばらくの間運転しなかった後、ガスコードを脱着した後になかなか点火しない。	ガスコード内に空気が入ったためです。いったん点火してから失火した場合は、再点火機能が自動的に1回だけ作動します。
運転中	初めて運転したときや、しばらくご使用にならなかった後の運転開始時に、煙やにおいが出る。	機器内部の部品などに付着している油やほこりが焼けるためです。しばらく換気しながらご使用ください。また、フローリングのワックスなどが温風に加熱されて、におうことがあります。しばらくすると自然になくなります。
	点火したときや、停止した後「コツン」「コツン」という音がする。	ガス通路を開閉するための電磁弁（電気で開閉するガス弁）が作動するときの音です。
	点火したときに、「ボッ」という音がする。	点火音がする場合があります。
	点火したときに、「ヒュー」「ピー」という音がする。	ガスコードを脱着したときにガスコード内に空気が入ったためです。
	運転中に、「シャー」という音がする。	ガスの通過音がする場合があります。
	点火後や、停止後に「チリ、チリ」「コツン、コツン」とキシミ音が出る。	機器内部の部品などが加熱や冷却される際に金属が膨張、収縮して発生する音です。
運転後・停止中	停止してもすぐに対流ファン（温風）が停止しない。	機器内部を冷やしてから自動的に止まります。
	停止後、再度運転操作をしてもすぐに点火しない。	内部が冷えるまでしばらく待ち、約20秒たってから自動的に点火します。
	誤って電源プラグを抜いてしまったため、すぐ差し込んで運転操作をしたが、点火しない。	内部が冷えるまで数分間待ってから、再度運転操作をしてください。

知っておいてください

安全装置が作動したときの処置

この機器には、安全装置が作動したときのお知らせ機能がついています。使用中に機器が停止したら、安全装置が作動していないか調べてください。
対流ファンが回っている場合は、ファンが止まってから確認してください。

■ 補足

- 安全装置が作動したときは、ブザー音でお知らせします。
（過電流防止装置作動時や停電時は、ブザー音は鳴りません。）
- 安全装置作動時の表示は、運転スイッチを押すと解除されます。
- お部屋の換気不足で不完全燃焼防止装置が作動した後、十分にお部屋の換気をせずに再運転しますと「11点滅」「12点滅」「14点滅」などを表示して運転をしない場合があります。十分にお部屋の換気を行った後、再運転してください。
- 安全装置が作動した後、点検して再運転しても、たびたび同じような作動を繰り返すような場合は、お買い上げの販売店、またはもよりのガス会社（供給業者）にご連絡ください。

安全装置作動時の表示	安全装置	はたらき	原因	処置方法
12（12点滅）運転/燃焼ランプ ● 運転/燃焼（赤色点滅）	不完全燃焼防止装置	不完全燃焼をする前に、ガスを止め運転を停止します。	室内で換気不十分な状態で使用したり、エアフィルターにほこりが詰まっているときに起こります。	十分にお部屋の換気を行い、エアフィルター部の掃除を行った後、再運転してください。
	立消え安全装置	使用中にバーナーの炎が消えてしまったとき、ガスを止め運転を停止します。	ガス栓が開ききりなかったときや、ガスコードを脱着した後などに起こります。	点検後、再運転してください。
11（11点滅）運転/燃焼ランプ ● 運転/燃焼（赤色点滅）		点火時、バーナーに着火しなかったときなどにガスを止め運転を停止します。	ガス栓が閉じられていたり、開ききりなかったときなどに起こります。	
01（01点滅）運転/燃焼ランプ ● 運転/燃焼（赤色点滅）	8時間自動消火機能	8時間連続運転すると自動消火します。	故障ではありません。 運転開始後8時間が過ぎたためです。	継続して運転する場合は、運転スイッチを1回押して、「01」点滅表示を解除し、再運転してください。
03（03点滅）運転/燃焼ランプ ● 運転/燃焼（赤色点滅）	転倒時ガス遮断装置	機器が倒れたときや燃焼したまま機器を移動させたときに、ガスを止め運転を停止します。	燃焼したまま機器を持ち運んだり、機器が倒れたときなどに起こります。	点検後、再運転してください。
14（14点滅）フィルター掃除サイン ■（赤色点滅）運転/燃焼ランプ ● 運転/燃焼（赤色点滅）	過熱防止装置（サーミスタ）	機器内が異常過熱したときに、ガスを止め運転を停止します。	エアフィルターが、ほこり詰まりしていたり、温風吹出し口に障害物があるときなどに起こります。 機器内部にほこりがたまっているときにも起こります。	エアフィルター部の掃除や、障害物を取り除いた後しばらく（5～6分）してから再運転してください。（電源プラグは対流ファンが回っている間は抜かないでください。） 上記処置を行っても、たびたび同じような「14」点滅表示をする場合には、点検整備が必要となります。 くわしくは 32ページ
	過熱防止装置（温度ヒューズ）	機器内が異常過熱したときに、ガスを止め運転を停止します。	エアフィルターや温風吹出し口がふさがれたときなどに起こります。	修理が必要です。お買い上げの販売店、またはもよりのガス会社（供給業者）へご連絡ください。
（消灯）運転/燃焼ランプ ○ 運転/燃焼（消灯）	過電流防止装置（電流ヒューズ）	過電流が流れたときに、電流ヒューズを切り、運転を停止します。	電気回路がショートしたときなどに起こります。	修理が必要です。お買い上げの販売店、またはもよりのガス会社（供給業者）へご連絡ください。
停電時（消灯）運転/燃焼ランプ ○ 運転/燃焼（消灯） 再通電 00（00点滅）運転/燃焼ランプ ● 運転/燃焼（赤色点滅）	停電時安全装置	停電したときには、ガスを止め運転を停止します。 また、停電中は使用できません。	故障ではありません。 停電により停止したためです。 または、運転中に電源プラグを引き抜いたためです。	再通電時、対流ファンが回っていることがあります。 この場合、対流ファンが止まってから運転スイッチを1回押して、「00」点滅表示を解除して、再運転してください。 （停電中は必ずガス栓を閉じてください。）
70（70点滅）運転/燃焼ランプ ● 運転/燃焼（赤色点滅）	スイッチ回路安全装置	運転スイッチ回路に異常が起きたときに、ガスを止め運転を停止します。	運転スイッチ回路がショートしたり、15秒以上押し続けたときに起こります。	運転スイッチを1回押して、「70」点滅表示を解除して、再運転してください。（押し続けないでください。）それでも安全装置が作動する場合は修理が必要です。お買い上げの販売店、またはもよりのガス会社（供給業者）へご連絡ください。
上記以外の表示	上記以外の安全装置作動	上記以外の異常が起きたときに、安全停止します。	ガス栓を閉め、お買い上げの販売店、またはもよりのガス会社（供給業者）へご連絡ください。	

ご参考に

保管とアフターサービス

●保管（長期間使用しない場合）

⚠注意

ガス栓を閉じ、電源プラグをコンセントから抜き、ガスコードを取り外してください。

●機器の点検・お手入れをしてから保管してください。

●各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないように保管してください。
●特にガス接続口やガスコードには、ほこりやごみが入ってガス通路を詰まらせないように、付属のキャップをしてください。
●湿気やほこりの少ないところに保管してください。
●お買い上げ時の箱に入れておかれると便利です。
●ベランダなど直射日光の当たる場所や高温になるところでの保管は樹脂部分の変色や変形のおそれがありますのでお避けください。

●アフターサービスについて

サービスのお申し込み

「故障かな？と思ったら」(26 ～ 28 ページ)、「安全装置が作動したときの処置」(29・30 ページ)を見てもう一度ご確認ください。

⚠警告

ご確認のうえ、それでも不具合がある場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。(別添の「大阪ガスのお問い合わせ先」参照)
そのままご使用になりますと、故障や感電・やけど・一酸化炭素中毒・ガス漏れ・火災の原因になります。

なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。
(1) 品名…ガスファンヒーター
(2) 型番…本体右側面に張り付けてあります。
(例) 140-9362 の 13A の場合

(3) 現象（できるだけくわしく）
(4) お名前・ご住所・電話番号・道順（できるだけくわしく）

転居されるとき

⚠警告

ガスには、都市ガス数種類およびＬＰガスの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認のうえ、もよりの大阪ガスまたは転居先のガス事業者(供給業者)にご相談ください。
ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

●転居にともなう調整や改造の費用は、保証期間内でも有料となります。

保証について

本書裏表紙に保証書がついています。

●保証期間中は
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。くわしくは、保証書をご覧ください。
保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について
お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

●補修用性能部品の保有期間は、当製品の製造打切後７年間となっています。
なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。
ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

点検整備のおすすめ（有料）

●長期間、安全快適にご使用いただくために定期的に（3 シーズンに 1 回程度）「点検整備」を受けられることをおすすめします。
●「点検整備」は、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご依頼ください。(有料)
●「点検整備」の内容は、下記のとおりです。
①機能部品の点検、確認
②掃除整備

ご参考に

仕様

暖房の目やすは温暖地を基準にしております

型番		140-9362 型		
種類	燃焼方式	ブンゼン燃焼式		
	給排気方式	開放式		
	放熱方式	強制対流式		
点火方式		連続放電点火方式		
暖房の目やす	木造家屋	都市ガス 13A・LP ガス用：7 畳まで　都市ガス 12A 用：6 畳まで		
	コンクリート造家屋	都市ガス 13A・LP ガス用：9 畳まで　都市ガス 12A 用：8 畳まで		
外形寸法（mm）		高さ 381 ×幅 410 ×奥行 135（脚部 170）		
質量（本体）		6.3kg		
電気関係	電源	AC100V、50/60Hz		
	消費電力（50/60Hz）	31/30W（待機時 0.7/0.6W）		
	電源コード長さ	2m		
安全装置		・不完全燃焼防止装置（熱電対式） ・立消え安全装置（熱電対式） ・転倒時ガス遮断装置 ・過熱防止装置（温度ヒューズ、サーミスタ） ・過電流防止装置（電流ヒューズ） ・停電時安全装置 ・スイッチ回路安全装置 ・8 時間自動消火機能		
付属品		取扱説明書・3 年間保証登録はがき・大阪ガスのお問い合わせ先		
使用ガス・使用ガスグループ		型式名	1 時間当たりのガス消費量	ガス接続
都市ガス用	13A	RC-K2403E-1	2.44～0.52kW（2100～450kcal/h）	ガスコード（別売）
	12A	RC-K2403E-1	2.28～0.49kW（1960～420kcal/h）	ガスコード（別売）
LP ガス用		RC-K2403E-2	2.44～0.76kW（0.17～0.05kg/h）	ガスコード（別売）

寸法図

単位：mm